

## 第3期愛媛県観光振興基本計画（案）の概要

### I 計画の趣旨

1. 基本的な考え方
2. 計画の期間

### II 本県観光を取り巻く環境変化と本県観光の現状

#### 1. 社会・経済環境の変化

- (1) 人口減少、少子化・高齢化の一層の進展
- (2) 地域ブランドの認知
- (3) 新型コロナの感染拡大による変化とデジタル化の加速
- (4) SDGs（持続可能な開発目標）の理念への対応

#### 2. 観光需要・ニーズの変化

- (1) 価値観の多様化と少人数化
- (2) コロナ禍を経てのニーズ変化（希少性）
- (3) 国内回帰による地域の見直し
- (4) 国際観光（訪日旅行）の復興

#### 3. 国・本県における観光施策

- (1) 国の観光施策
- (2) 本県の観光施策

#### 4. 本県観光の現状

- (1) 観光客の推移
  - ①観光入込客数
  - ②観光地別の県外観光客数
  - ③発地別の県外観光客数
  - ④宿泊客数
  - ⑤訪日外国人宿泊数
- (2) その他本県観光推進の動き
  - ①サイクリング観光
  - ②しまなみエリア
  - ③東予東部エリア
  - ④中予エリア
  - ⑤南予エリア
  - ⑥四国遍路
  - ⑦祭り
  - ⑧新たな観光資源（着地型観光）
  - ⑨その他まちづくりや観光振興（DMO起点）
  - ⑩外国人観光客
- (3) ビッグデータを活用した分析
  - ①国内旅行客

- ②訪日外国人旅行者
- ③その他（ウェブ検索、ホームページ解析）
- (4) 本県の観光振興の方向性検討のためのSWOT分析

### Ⅲ 愛媛県観光の目指すべき将来像

#### 1. 第2期計画の概況

#### 2. 第3期計画の概況（令和5年度～令和9年度）

#### 3. 将来到達目標（数値目標）

- (1) KGI（重要目標達成指標）
- (2) KPI（重要業績評価指標）
- (3) 活動指標

#### 4. 観光の振興に関する基本戦略

- (1) 特に力を入れるターゲット
  - ・定期航空路線がある大都市圏在住者
  - ・関西・中国・四国・九州の近隣県在住者
  - ・県内における交流人口の拡大
  - ・定期航空路線エリア（中国・台湾・韓国）等の訪日外国人旅行者
  - ・近隣県に入ってくる欧米豪の長期滞在者層
  - ・大阪・関西万博来場予定者層(想定)
  - ・国内外のサイクリング関心層
- (2) ゴーニング

### Ⅳ 次期計画の政策体系と施策

#### 1. 政策の3本柱

- (1) 来訪の動機となる愛媛のブランド化と受入体制の整備
- (2) 科学的なデータ分析に基づく、コト消費を重視した地域資源の磨上げと域内流動・消費行動の促進
- (3) SDGsの達成に貢献する持続可能な観光地づくりの推進

#### 2. 4つの施策

##### (1) 地域資源の活用とデジタル技術を駆使した戦略的な観光施策

###### ①メインコンテンツを核としたツーリズムブランドの形成

- ア サイクルツーリズムによるブランド化
- イ 四国遍路の世界遺産登録推進とブランド化
- ウ 県内主要観光資源の魅力向上

###### ②長期滞在型観光・リピーター獲得に向けた観光資源の魅力向上

- ア 南予の秘めたる魅力を開花させ滞在型・体験型観光地へ
- イ コロナ禍を経て新たなニーズ変化を捉えたアドベンチャーツーリズム等の推進
- ウ 本県が誇る農林水産物の“食”を切り口とした観光振興の推進
- エ 歴史・文化やスポーツと融合した観光振興の推進

オ 映画やアニメ等のコンテンツの活用や著名人による魅力発信

**③愛媛の特性を生かしたインバウンド誘客**

ア 大阪・関西万博を契機にしたインバウンド誘客

イ 国際定期航空路線の維持拡大・成長市場からの新規航空路線の誘致

ウ 広域連携による外国人観光客の誘客促進

エ 外国クルーズ船の誘致や経済的な効果を高める取組みの促進

**④デジタルマーケティングに基づく観光戦略とプロモーション活動**

ア デジタルマーケティングの強化

イ 観光デジタル情報プラットフォームの利活用

ウ デジタルコンテンツを活用した誘客促進

エ 県ホームページ等における情報発信の充実

**(2) 観光産業のみならず他産業への相乗効果を生み出す観光施策**

**①民間事業者の発想とノウハウを生かした観光産業の活性化**

**②実需創出に向けた国内外と繋がる誘客の仕組みづくり**

**③高い経済波及効果実現に向けた域内循環の仕組みづくり**

ア 域内消費の喚起

イ 地消地産の推進

ウ 地域産業との連携

**④M I C E の誘致活動の強化と受入環境の整備**

ア M I C E の誘致活動の強化

イ M I C E の受入環境整備

**(3) 将来にわたる持続可能な地域の形成に向けた観光施策**

**①観光振興を起点とした環境・文化保全**

○ 持続可能な観光モデル事業の実施

**②多様な旅行者が安心して快適な旅行ができる受入環境整備**

ア 感染症や災害等のリスクに対応した観光客の安全安心対策

イ 公共交通機関との連携

ウ ユニバーサルツーリズムの推進

エ 外国人も安心して旅行できる観光の整備

a. 情報発信

b. 宿泊施設

c. 多様な宗教・信条への対応

d. 食事

e. 公共交通機関

オ ラストワンマイル交通の検討

**③持続的な成長発展に向けた担い手の確保・育成**

ア 観光まちづくりを牽引する中核人材等の確保・育成

イ 国際的な地域間交流の活性化

**④交流人口から関係人口への仕組みづくり**

ア ワークেশヨンの推進

イ 教育旅行・研修旅行の推進

⑤観光まちづくりを起点としたシビックプライドの醸成

○ 観光を通じた地域愛の醸成

(4) 地域振興を目指すエリアマネジメント組織の形成に向けた施策

①県及び愛媛DMO(愛媛県観光物産協会)の役割分担の明確化・推進体制の見直しの検討

②愛媛DMOの機能強化

③市町・観光関係団体等との連携

④観光振興に係る財源の確保

**V 計画の推進にあたって**

**1. 推進体制の整備**

(1) 各主体の役割分担

①県の役割・責務

②市町の役割

③県民の役割

④観光事業者の役割

⑤観光関連団体(観光地域づくり法人/DMO)の役割

(2) 協力・連携体制

**2. 各施策の運用状況の確認**

(1) 愛媛県観光振興基本計画推進検討会の設置等

(2) PDCAマネジメントサイクル等による検証